

高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【 女子 】 第 5 節 第 10 日

開催日時 10 月 8 日 (月) 会場 山梨学院ホッケースタジアム 天候 晴れ

【各試合の結果・詳細】

第1試合

グラクソ・スミスクライン 1 $\begin{pmatrix} 0 & -3 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 3 コカ・コーラウエストレッドスパークス

勝点 12
4 勝 0 分 6 敗

勝点 27
9 勝 0 分 1 敗

<得点>

グラクソ : 54分土井

CCWR : 18分朴, 30分西村, 32分李

<戦評>

開始早々グラクソが相手陣内に攻めるものの得点には至らない。一進一退の攻防が続く中、試合が動いたのは18分。CCWRがPCを獲得すると#18李のスィープに#2朴がタッチで合わせ先制する。その後勢いに乗ったCCWRは、30分、#5西村、32分、#18李が立て続けに追加点を決めグラクソを突き放し、0-3で前半を折り返す。後半もCCWRペースで試合は進む。しかし、1点が欲しいグラクソは54分、#5土井がプッシュで押し込み得点を挙げる。CCWRもPCを取り、追加点を狙うが、粘るグラクソに阻まれる。そのまま試合は終了し、前半0-3、後半1-0、計1-3でCCWRが勝利する。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	清水 恭子		相馬 知恵子

第2試合

山梨学院CROWNING GLORIES 1 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学ホリーズ

勝点 7
1 勝 4 分 5 敗

勝点 5
1 勝 2 分 7 敗

<得点>

山梨学院 : 2分五島

立命館大 : 62分坂井

<戦評>

開始2分山梨学院#23五島が豪快なヒットで先制点を挙げると、#10田中や#9浦島の巧みなドリブルで立命館大陣地へ攻め上がる。守備でも粘りを見せる山梨学院DFが立命館大の攻撃を阻み1-0で前半を折り返す。1点を追う立命館大は後半、積極的な攻撃を見せる。62分PCのチャンスを得ると、#13坂井がタッチシュートで決め同点とする。その後、両チーム得点を狙うも決めきれず、前半1-0、後半0-1、計1-1で引き分けで試合は終了する。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	木下 英貴
ジャッジ	清水 恭子		根岸 郁美

高円宮杯 ホッケー日本リーグ 【女子】 第5節 第 10 日

開催日時 10 月 8 日 (祝) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

東海学院大学 1 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 16 勝点 2
5勝1分4敗 2分8敗

得点	天理→ 42分森 東海→ 59分浅海
戦評	天理のセンターパスにより試合が開始された。立ち上がりから天理が試合を優位に進めるが、東海ゴール前に迫るものの決めきれない。天理は30分にPCを獲得するも得点には至らず、前半を0-0で折り返す。 後半もかかんに攻撃する天理は42分、右サイドをオーバーラップしてきた#8山中が巧みなドリブルで東海DFを振り切りサークル突破し、ゴール正面にいた#12森にパス。それをダイレクトシュートでゴール右下に決め先制点を手に入れる。流れを変えようと積極的に攻撃を仕掛ける東海だが、天理DF陣の粘り強い守りの阻まれ得点することが出来ない。しかし59分東海はPCのチャンスを得る。#11小沢の正確なパスを#15浅海がタッチシュートでゴール右上に決めチャンスを確実にものにし同点とする。その後も東海は攻め続けるが得点できずそのまま試合終了。両チーム勝点1を分け合った。

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	安岡裕美子
ジャッジ	原野裕子		高橋英行

ソニーHC
BRAVIA Ladies 1 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行

勝点 28 勝点 17
9勝1分 5勝2分3敗

得点	ソニー→ 52分村上
戦評	南都銀行のセンターパスにより試合が開始された。先にチャンスを得たのは南都。15分にPCを獲得するもソニーの守備により得点に至らない。対するソニーは18・34分にPCを獲得するが、南都GKの好セーブによりゴールを奪うことができず、両チーム一進一退の攻防を展開し0-0のまま前半を折り返す。 後半ソニーは、前線から激しくDFを仕掛け南都にプレッシャーを与える。その中、52分にソニーはPCを獲得する。#4村上が豪快なフリックシュートをゴール左下に決め先制点を手に入れる。同点に追いつきたい南都は何度もカウンター攻撃を試みるがソニーのDF陣に阻まれ得点することができずそのまま試合終了。ソニーは勝点を28に伸ばし首位をキープした。

テクニカルオフィサー	今庄充世	アンパイア	壽山由樹
ジャッジ	原野裕子		我妻順子